



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

2009 - 2010 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーの未来はあなたの手に」
R.I. 会長 John Kenny

2580 地区テーマ 「ロータリーの未来はあなたの手に」
地区ガバナー 多田 宏

クラブテーマ 「感謝の心で行動を」
クラブ会長 小林 雅純

本日の卓話

クラブフォーラム「会員増強」

今後の卓話予定

3/17 移動例会 3月15日
「3クラブ合同例会」浅草ビューホテル 主催：浅草 RC

3/24 「ローターアクトの現況」
地区ローターアクト 代表 千代 輝様 紹介者 岩戸正一君



2010年3月10日

第 1166 回分区分大会

第 1167 回例会

会長 小林 雅純
幹事 古谷 輝彦



前回・前々回(2/17 1164 回移動例会・2/24 1165 回例会)の記録

来訪者紹介(1165 回例会)

◆ゲスト 2名 対人地雷除去に関する特別委員会 常任委員 村瀬泰雄様
浅草警察署 防犯係 阿部様

◆ビジター 2名 東京浅草RC 湧井壮吉様・岩崎 隆様

出席報告(1164 回移動例会)

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
43名	0名	2名	27名	14名	65.85%	1162 回例会修正 欠席 4名・出席率 90.24%

出席報告(1165 回例会)

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
43名	0名	2名	35名	6名	85.37%	1163 回例会修正 欠席 4名・出席率 90.24%



3月お誕生日祝

9日(70才) 大塚 清君 20日(61才) 長沼一雄君
28日(68才) 片岡邦夫君



年間100%出席

宮村 義男 君 6回

会長報告<小林会長>

・2月16・17日の2日間、地区大会に参加頂きありがとうございました。私も2日間通して参加し、しっかり勉強させて頂きました。2580地区は現在71クラブ、メンバーは3236名('09.12)とのことであり、多田ガバナーのリーダーシップのもと、多くの課題に挑戦している最中であり、また来週には、3月2日のIMもありますので、こ

でもしっかり勉強して下さい。上原さんよろしくお願ひ致します。ロータリーのメンバーにとって、志、考え方がスタートラインであり、あとは本人の努力次第であります。ガバナーや、地区役員の方々の活躍に対して心より感謝するものであります。しかし上には上があり、国際ロータリーの会長や、RIの理事の人達はどんな活動をしているのか、よく知りませんでした。

幹事報告<古谷幹事>

- ・地区大会会場に眼鏡の忘れものがあったとの連絡が来ております。
- ・2010年3月のロータリーレートは1ドル=90円になります。

- ・東京上野ロータリークラブより、3月17日開催される奏楽堂コンサートの招待券が来ております。興味のある方は幹事まで申し出て下さい。

委員会報告

<S.A.A.>

- ・3月15日の3クラブ合同例会の出欠表を回しています。卓話は「小沢昭一的ころ」です。

<国際奉仕>

- ・対人地雷除去の募金のお知らせです。今回の10号機で事業終了となります。よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

<藤掛次年度親睦委員長 >

- ・次年度に向け、現・次年度親睦・S.A.A.合同親睦会を開催します。3月以後毎月開催する予定ですが、親睦・S.A.A.のみならず、会員の方なら誰でも歓迎です。日時、場所が決まりましたらご案内いたします。これがクラブの活性化の一助になればと思います。

ニコニコボックス

<旬の会一同>

- ・トライアールで旬の会を行いました。残金をニコニコします。

<天笠>

- ・ロータリー地区大会を2日とも欠席いたしました。申し訳ありません。ニコニコいたします。

<植木、岩戸、長堀、藤野、長島>

- ・本日、卓話をしていただく村瀬泰雄様、カンボジアの最新情報、楽しみにしています。

<小林、古谷>

- ・村瀬様、カンボジアの対人地雷除去のホットな状況、ありがとうございます。

<中村(義)、参加者一同>

- ・3月4日より8日迄、カンボジアへ行って来ます。1,000円で10人の子供達にシューズサンダルを贈ることが出来ます。カンボジアの子供達に愛を込めてご支援を!! 6万8千円いただきました。ありがとうございました。

卓 話

「クリアランド・プロジェクト・カンボジア 10年の歩み」



2580 地区地雷委員会

村瀬 泰雄様

紹介者 岩戸 正一 君

遂にクリアランドプロジェクトが終わりました。皆様の10年間という長い間のたゆまぬご支援助のおかげでこの地区の10年プロジェクトを無事完遂することが出来ました。ロータリー2580地区がカンボジアの地雷原120万平米をクリアし

て、6,000個の地雷を除去し、2,000個の不発弾を処理し、26,000人の農民の難民キャンプから故郷への再定住を果たし得たわけであります。本当に最後までご支援、ご協力頂き有難うございました。

プロジェクトを始めた10年前は地雷犠牲者の数が1年5,000人であったのが、昨年1年では240人に減ったのが救いであります。クリアランド。プロジェクトはこれで完了、常任委員もほとんどが60台後半から80歳近くの年齢であり、正直疲れまし、ほっとしております。しかし、まだ年間200人程度の市民が犠牲になっているわけですから「今度は若いロータリアンの方々が新しい形で又いつの日か引き継いでいただければなあ」という気持ちもございます。

私は特別委員会の常任委員としてクリアランドプロジェクトに参加してきましたが、当初から地雷に関心を持っていたわけではありません。地区の国際奉仕委員長になったことで自動的に地雷の委員になったというのが実際のところですが、当時クリアランド・プロジェクトの創設者で熱心にこの活動に取り組んでおられたPGの徳増さんとは損保業界の同業で昔から存じ上げており、その徳増さんから「最後まで手伝ってくれよ」と言われたことに加え、現地を訪れて実際に被害にあった手足の無い一般市民や子供たちを見てからは、「何とかお手伝いをしていかなければ」という思いを強く持つようになったのが始まりです。

戦争が終わって二十数年もたった今、どうして地雷が一般市民を苦しめているのか、どうして一つずつ地雷を処理しなければならないのか、私も現地を訪れるまでは理解していませんでした。例えば空中で火薬を爆発させて、その風圧で地雷を爆破させる大量処理という方法もありますが、カンボジアでは行われていません。それを行うには、まず対象地区の村人たちを移動させなければなりません、村長さんの命令で村人全員を避難させることができるのは先進国の話であって、内戦で小学校にも行けず、社会的訓練が行き届いていないカンボジアではそういうことは出来ないのです。また多量に処理できる装甲車みたいなシャベルカー方式もあるのですが林や森には機械が入れないのです。加えて、大量処理の処理率は50%にすぎ

ず、残り50%は探知機で一つずつ探すことになりますが、地雷の破片やその他の金属が飛び散った後であるために探知機が鳴り続けてかえって取拾がつかなくなります。

「地雷除去は埋めた国がやるべきだ、作った国がやるべきだ」という強いご意見もありますが、ロータリーの奉仕活動は難しく筋論やべき論で考えるのではなく、「出来る人がやればいいじゃないか」というおおらかな気持ちが必要だと思っています。実は私が最初に地雷原に行った時、軍のヘリで行くのですがチャーター運賃90万円を参加した人間が割り勘で負担するのに驚き、HALOの親分に「カンボジアの地雷を取るんだからヘリぐらい提供してくれてもよいではないか」と言ったら「そんなこと言うなよ。軍には軍の事情があるのだよ。払える奴が払えばいいではないか」と言われました。カンボジア軍の兵隊さんは給料が安くこういう収入が生活費の足しになるのだそうです。「カンボジアのためにやっている」と言うのは“恩着せ”になり、恩着せがあるうちは援助ではあるが奉仕ではない、“恩着”せがなくなると“奉仕”になるのだそうです。ロータリーの教えみたいなお話を英国人に諭されました。

とにかく今回のプロジェクトで多くのことを学びました。参加する前は世界の問題をどうしても日本を中心に考えがちでしたが、自分の知らない世界がこんなに多くあるのだということが分り始め、「世界の問題は地球規模で考えなければならぬ」という気持ちが強くなってきました。小生も仕事上海外駐在や出張を多く経験いたしました。世界のきれいな部分しか見てないのだと反省しております。

このプロジェクトは最終的に本年6月のロータリー年度末に完了します。募金は5月20日の各クラブからの送金をもって終了いたします。まだクリアランド10号が現地で継続中でありまして5月20日までよろしくイエローボックスのへのご協力をお願い申し上げます。